



管内経済情勢報告

令和4年1月25日

財務省関東財務局


お問い合わせ先

関東財務局総務部経済調査課

電話番号 048-600-1161

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している」

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	




（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。







（判断の要点）

個人消費は、家電販売額、ホームセンター販売額などが前年を下回っている一方で、スーパー販売額、百貨店販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスが持ち直しつつあるなど、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約がみられるものの、生産用機械、電気機械が増加しているほか、輸送機械が回復傾向にあるなど、持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	

設備投資	3年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	3年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	
企業収益	3年度は増益見込みとなっている（全規模ベース）	3年度は増益見込みとなっている（全規模ベース）	
企業の景況感	「下降」超となっている（全規模・全産業ベース）	「上昇」超となっている（全規模・全産業ベース）	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

スーパー販売額、百貨店販売額などは前年を上回っている。家電販売額、ホームセンター販売額などは前年を下回っている。乗用車の新車登録届出台数は、供給面の影響により、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を下回っている。宿泊や飲食サービスなどは、総じてみれば持ち直しつつある。

このように個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 一部に節約志向や買い控えの傾向がみられるようになったが、内食需要は継続している。クリスマスケーキやおせちの予約は前年を上回るなど、イベント時における消費意欲は引き続き強い。(スーパー、中堅企業)
- 緊急事態宣言解除を受けて自粛ムードが和らいだほか、これまで消費を我慢していた反動から売上、客数、客単価が全て上昇した。クリスマスやお正月などハレの日需要も好調。(百貨店、大企業)
- 年末商戦ではゲーム機やスマートフォン等が例年並みとなっている一方で、主力であるテレビが買替需要の反動により不調。その他、半導体や部品供給不足の影響からドラム式洗濯機やプリンタなどで一部欠品が発生している。(家電量販店、中小企業)
- 前年の巣ごもり特需によって家具や日用品を中心に売上が大きく伸びていた分、今期はハードルが上がっており苦戦している。仕入価格が徐々に上昇しているが、ある程度販売価格に転嫁できているため、大きな影響はない。(ホームセンター、大企業)
- 半導体や部品不足の影響で納車が遅れているため、受注残が積み上がっている状況。納車ができれば売上は伸びていくと考えており、業況としては悪くない。(自動車販売、中小企業)
- 緊急事態宣言解除以降、数字は上向いており、旅行先として県民割が利用できる居住地域内や近隣エリアが好まれている。一方で、年末年始の予約状況を見ると国内旅行はコロナ前の6割に留まっており、リベンジ消費は限定的。(旅行、大企業)
- 10月以降は9月までと打って変わり人が戻ってきた。12月に入ってからも特段キャンセルは発生せず、年末年始も混雑したが、足下では感染者増加を受けて、企業や団体客において一部キャンセルが始まっている。(宿泊、大企業)
- 宣言解除後は客足が徐々に戻ってきており、特に家族・身内同士で来店する人が増えた。忘・新年会の予約数もほぼ例年並みまで回復したが、足下では変異株の影響により、先行き不透明感が高まっている。(飲食サービス、中堅企業)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、供給面での制約がみられるものの、生産用機械、電気機械が増加しているほか、輸送機械が回復傾向にあるなど、全体としては、持ち直しつつある。

- FPD製造装置関連では、スマートフォンやタブレット、PC向けの需要が好調。半導体不足や物流の混乱により部品調達に苦労しているものの、当初計画どおりの生産ができています。(生産用機械、大企業)
- 主力の家電製品について、需要はあるものの半導体不足の影響により生産が追い付いていない状況。そのため、代替品の検討や調達先の変更を進めている。(電気機械、大企業)
- 12月まで半導体不足の影響で生産調整を実施したものの、影響が大きかった前期比では増産となっており、年明け以降は正常稼働へ戻る見通し。(輸送機械、大企業)

なお、非製造業では、リース業の取扱高は前年を下回り、情報サービス業及び広告業の売上高は前年を上回っている。

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

有効求人倍率が横ばいで推移するなか、新規求人数は増加し、完全失業率は前年を下回っているなど、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

- 緊急事態宣言解除に伴いアルバイトの募集をかけているが、同業他社との競合が激しく必要人員を充足できない状況。(飲食サービス、大企業)
- 昨年度は感染症の影響で採用を抑制していたが、生産が回復してきたことで足下では工場作業員が不足気味となっている。(製造(その他製造)、大企業)

■ 設備投資 「3年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、生産用機械などで減少見込みとなっているものの、化学、非鉄金属などで増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、電気・ガス・水道業などで減少見込みとなっているものの、学術研究、専門・技術サービス業、小売業などで増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。

- 今年度は新製品開発のための設備投資に注力する方針としていることから、昨年度に比べ増加見込み。(化学、大企業)
- 昨年度は感染症の影響により設備投資を控えたことから、その反動で今年度は増加見込み。(小売、大企業)

■ 企業収益 「3年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、業務用機械などで減益見込みとなっているものの、鉄鋼、自動車・同附属品などで増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設業などで減益見込みとなっているものの、運輸業、郵便業などで増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『上昇』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 大企業、中堅企業は「上昇」超幅が拡大し、中小企業は「下降」超幅が縮小している。
先行きについては、全規模・全産業ベースで「上昇」超で推移する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

➢ 地価や建築費の上昇を背景にマンションの販売価格は高止まりしている状況にあるが、低金利、住宅ローン減税などの施策が下支えしており、底堅い状況が続いている。(不動産、大企業)
➢ 貸家に関して、共働き世帯向けに2か所のワークスペースを確保している賃貸住宅が好評。(建設、大企業)

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、都県は前年を上回っているものの、国、独立行政法人等、市区町村は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を上回っている」

- 通関実績(円ベース、東京税関と横浜税関の合計額)でみると、輸出は前年を上回っている。
なお、輸入も前年を上回っている。

■ **倒産** 「件数、負債総額ともに前年を下回っている」

3. 各都県の総括判断

	前回 (3年10月判断)	今回 (4年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
埼玉県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
千葉県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
東京都	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下で緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	個人消費及び産業活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
神奈川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
茨城県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	感染症の影響がみられるものの、個人消費は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。また、生産活動は、一部に供給面での制約がみられるものの、持ち直している。
栃木県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	→	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
群馬県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	→	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、持ち直している。生産活動は、持ち直しつつある。また、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
新潟県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
山梨県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	↑	個人消費は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。
長野県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	→	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

管内経済情勢報告

資料編

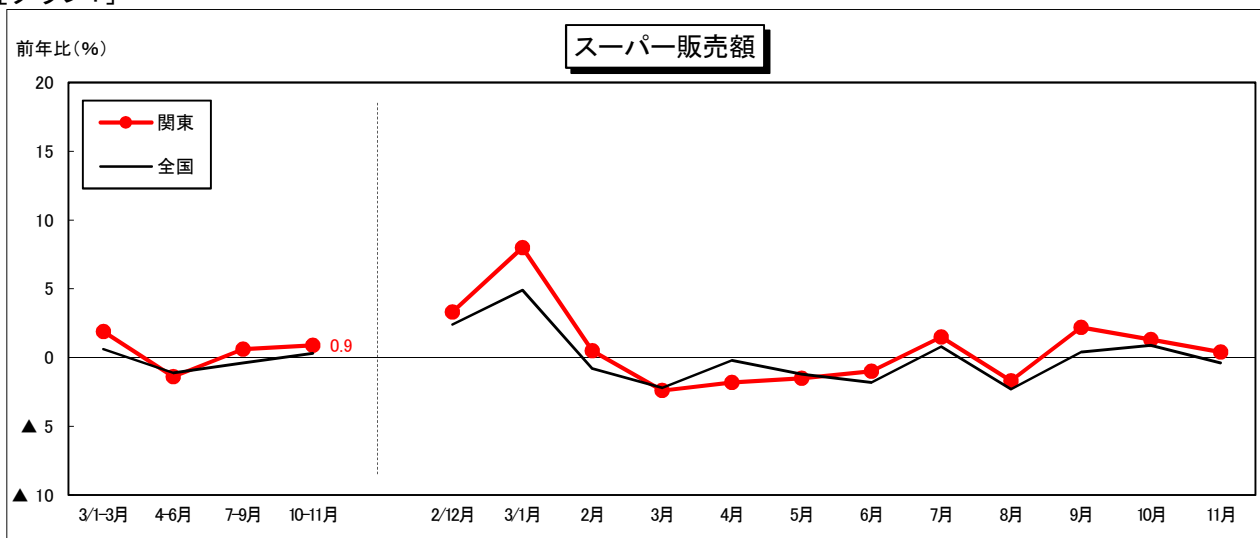
※掲載した経済指標等については速報値を含む。

※資料中の「管内」とは関東財務局が管轄する1都9県を示す。

1. 個人消費

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、
緩やかに持ち直している

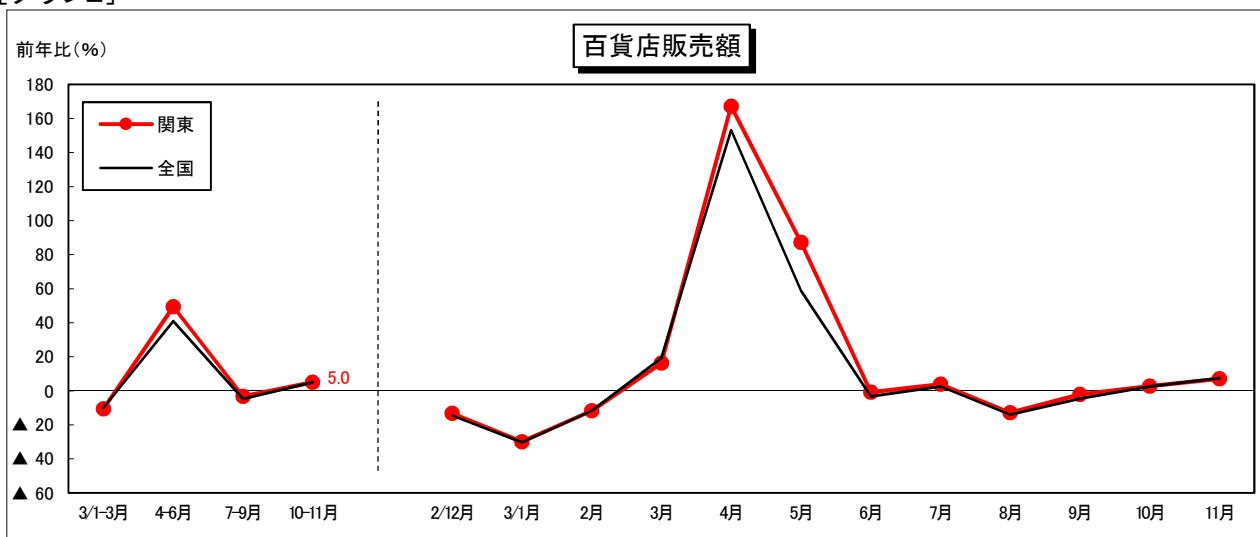
[グラフ1]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

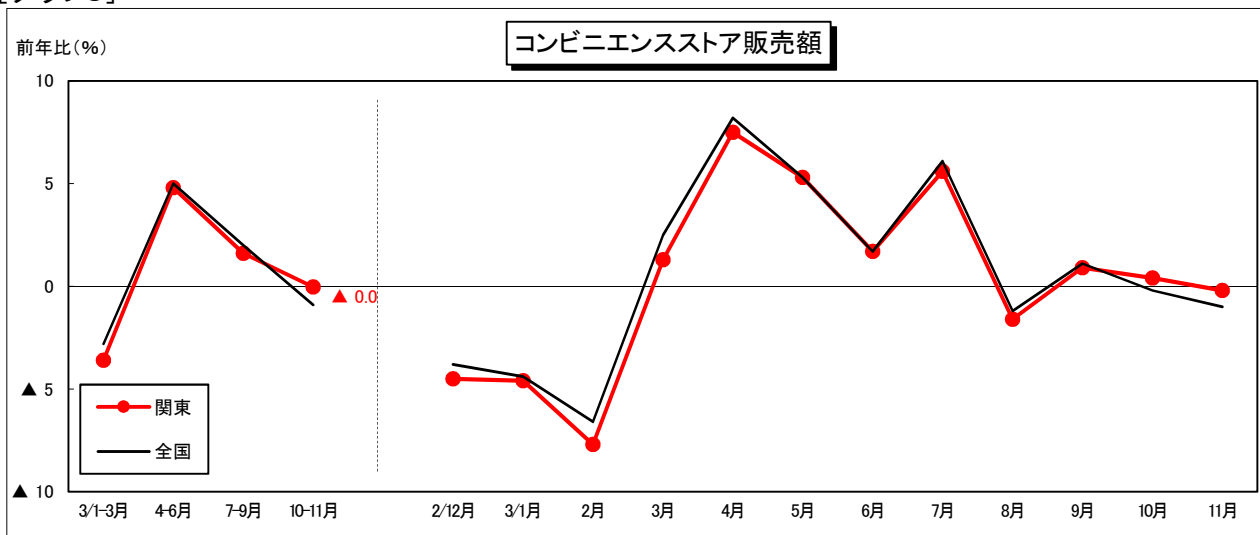
[グラフ2]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

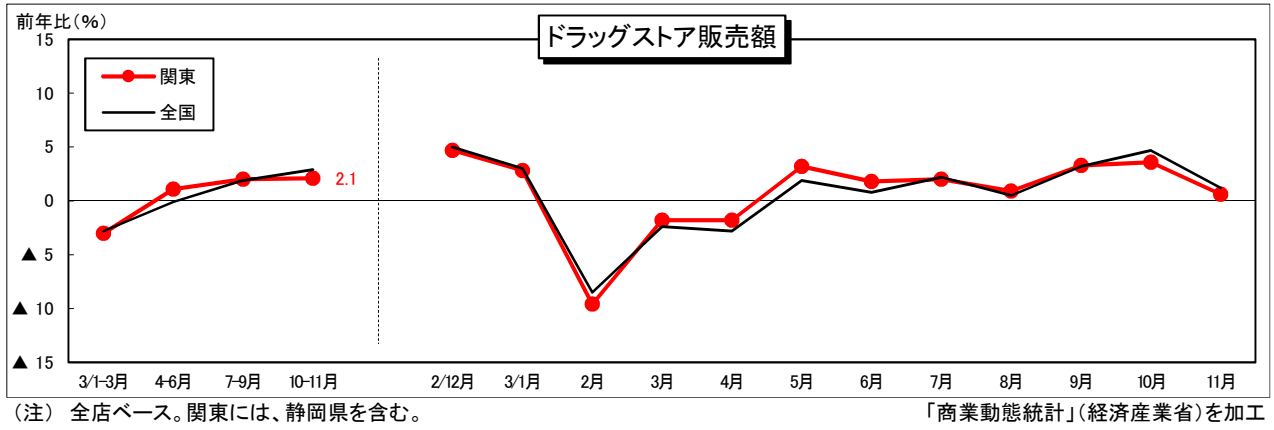
[グラフ3]



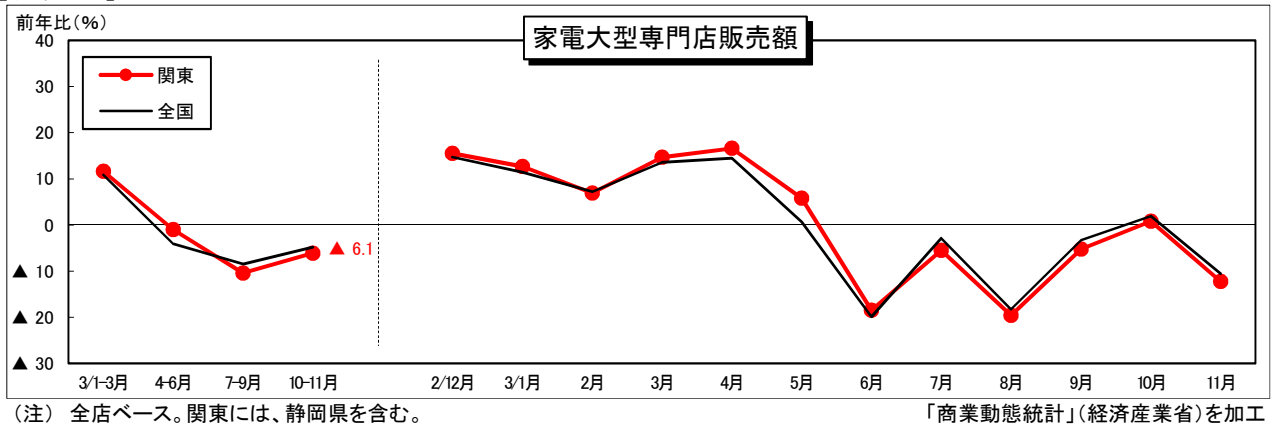
(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

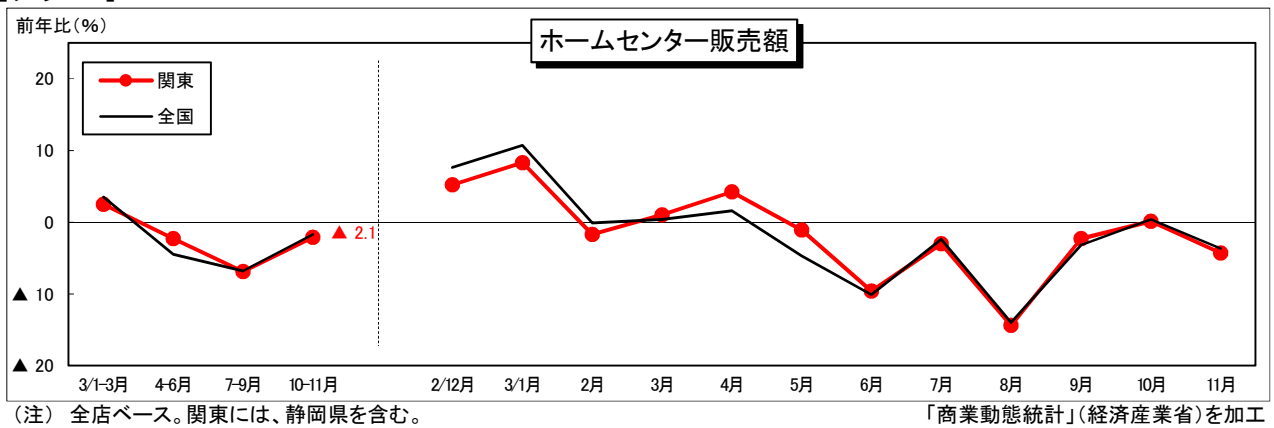
[グラフ4]



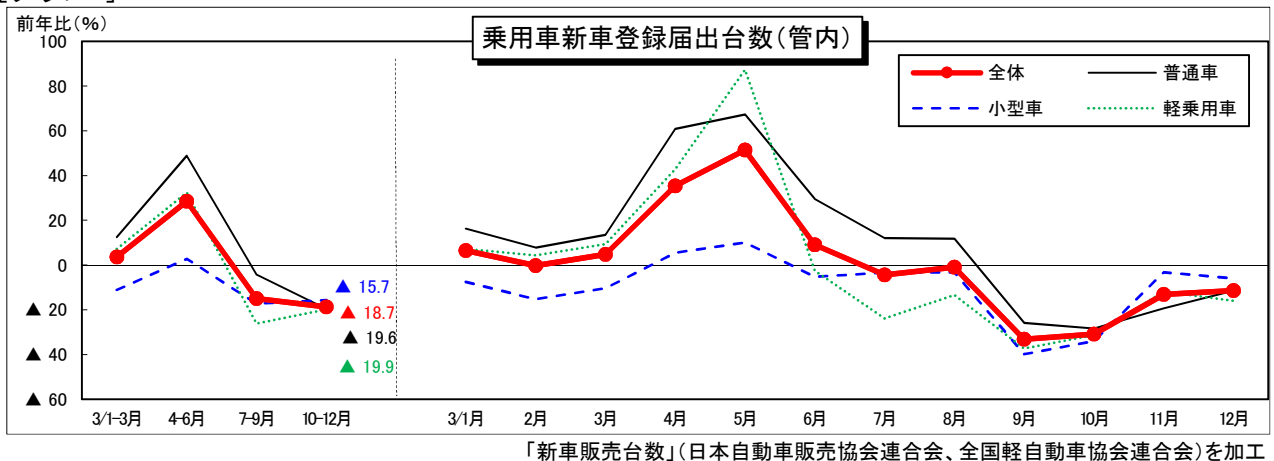
[グラフ5]



[グラフ6]



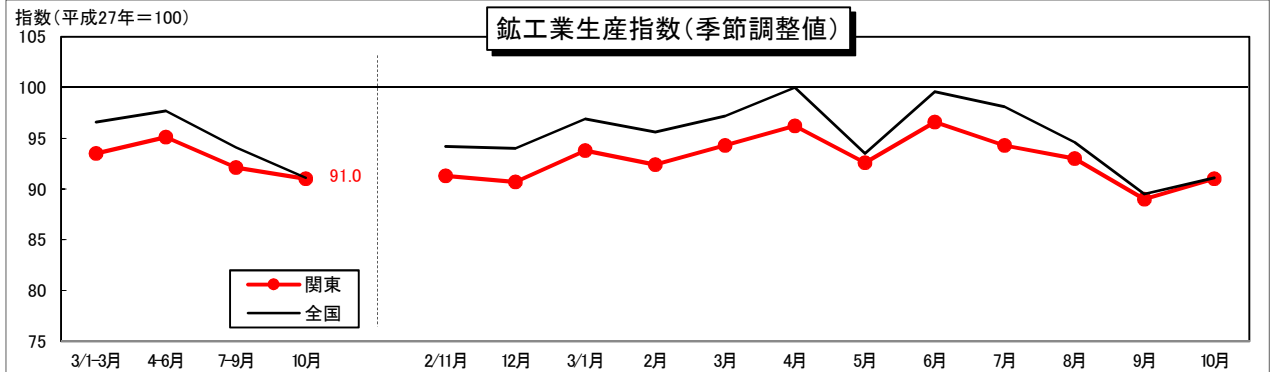
[グラフ7]



2. 生産活動

持ち直しつつある

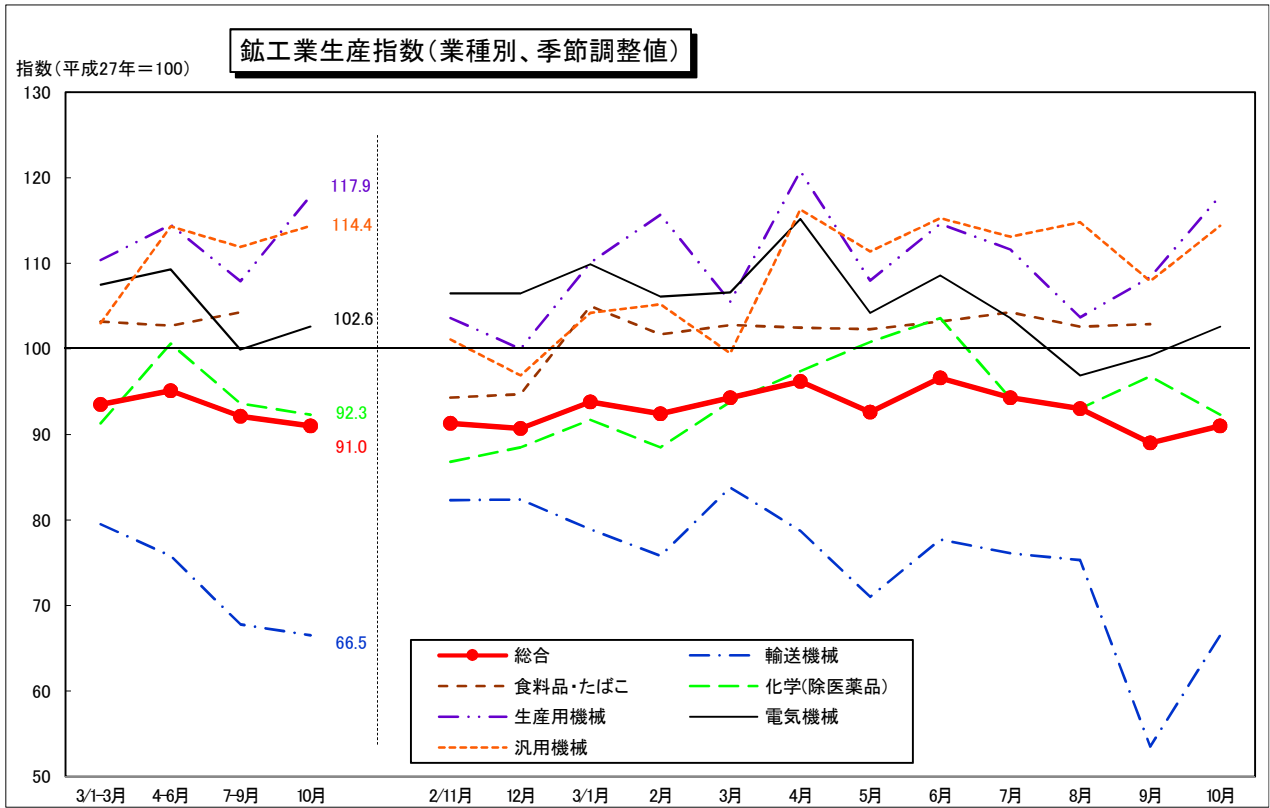
[グラフ8]



(注) 関東には、静岡県を含む。

「鉄工業指数」(関東経済産業局、経済産業省)を加工

[グラフ9]



(注) 関東には、静岡県を含む。

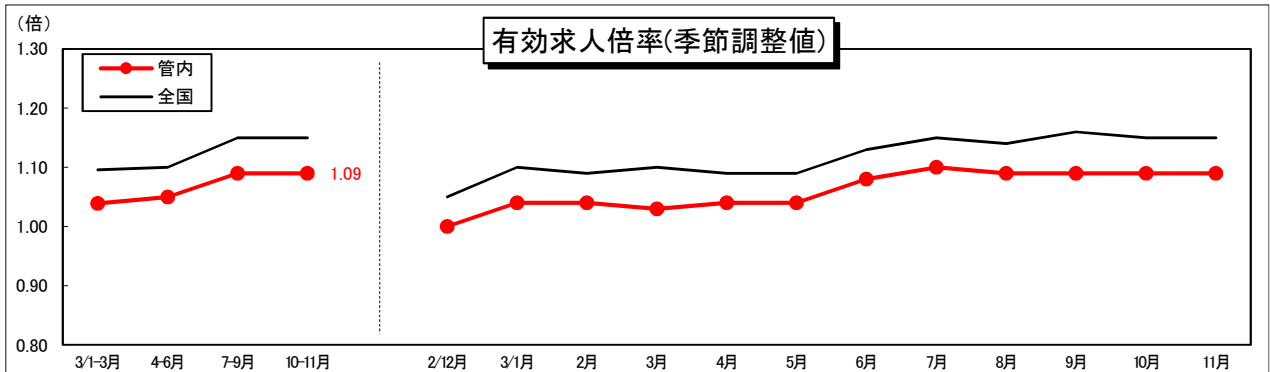
「鉄工業指数」(関東経済産業局)を加工

「食料品・たばこ」は、直近月の指数(速報値)が公表されていないため、直近四半期の平均値を算出しない。

3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している

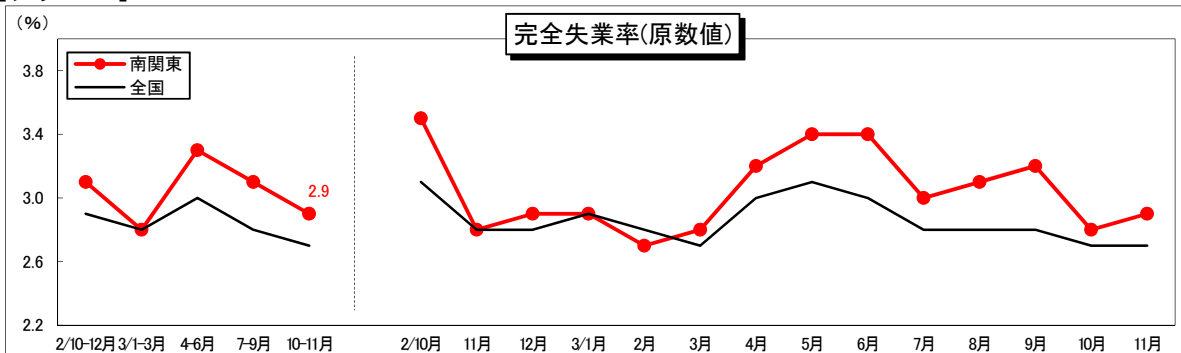
[グラフ10]



(注) パートを含む。

「一般職業紹介状況」(厚生労働省)を加工

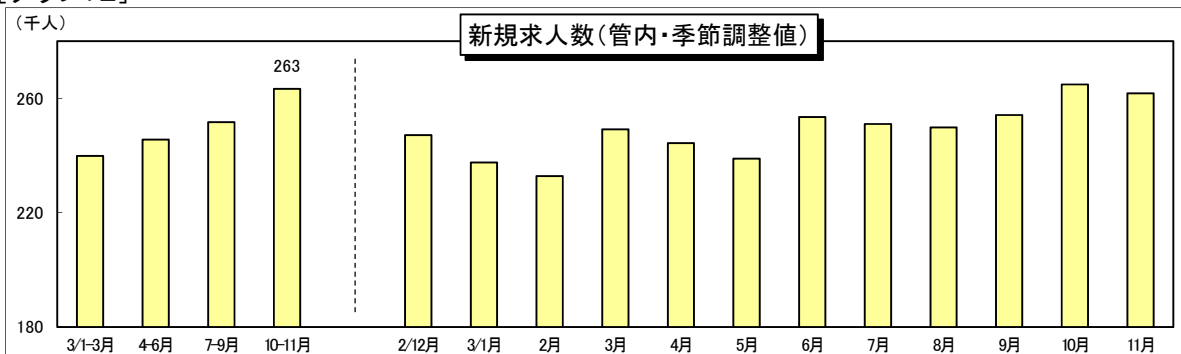
[グラフ11]



(注) 南関東…埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

「労働力調査」(総務省)を加工

[グラフ12]



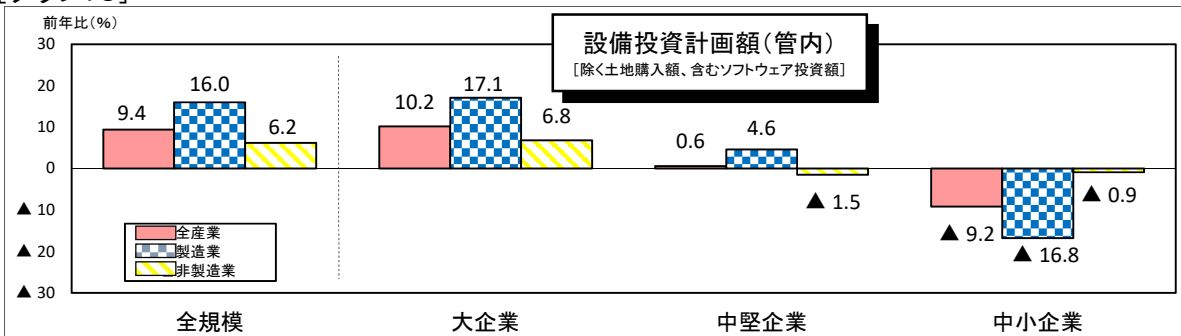
(注) パートを含む。四半期の値は月当たりの平均。

「一般職業紹介状況」(厚生労働省)を加工

4. 設備投資

3年度は増加見込みとなっている(全規模・全産業ベース)

[グラフ13]

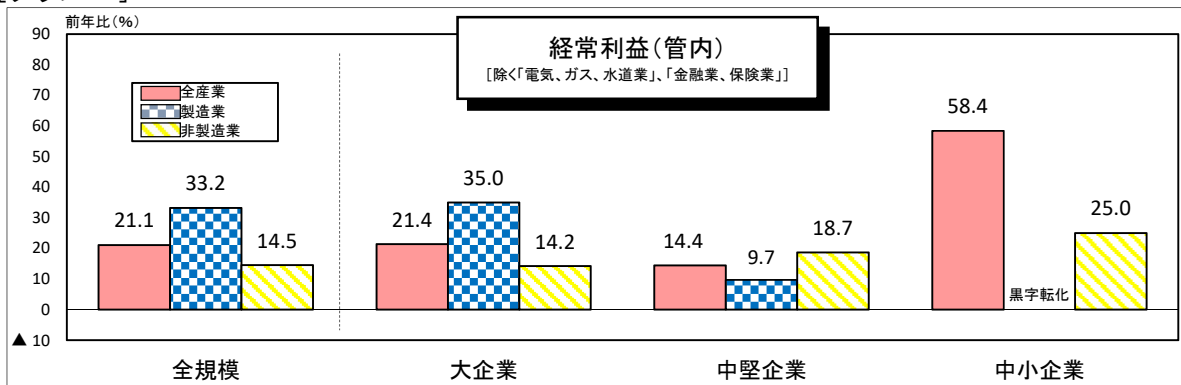


「法人企業景気予測調査(令和3年10~12月期調査)」(関東財務局)

5. 企業収益

3年度は増益見込みとなっている(全規模ベース)

[グラフ14]

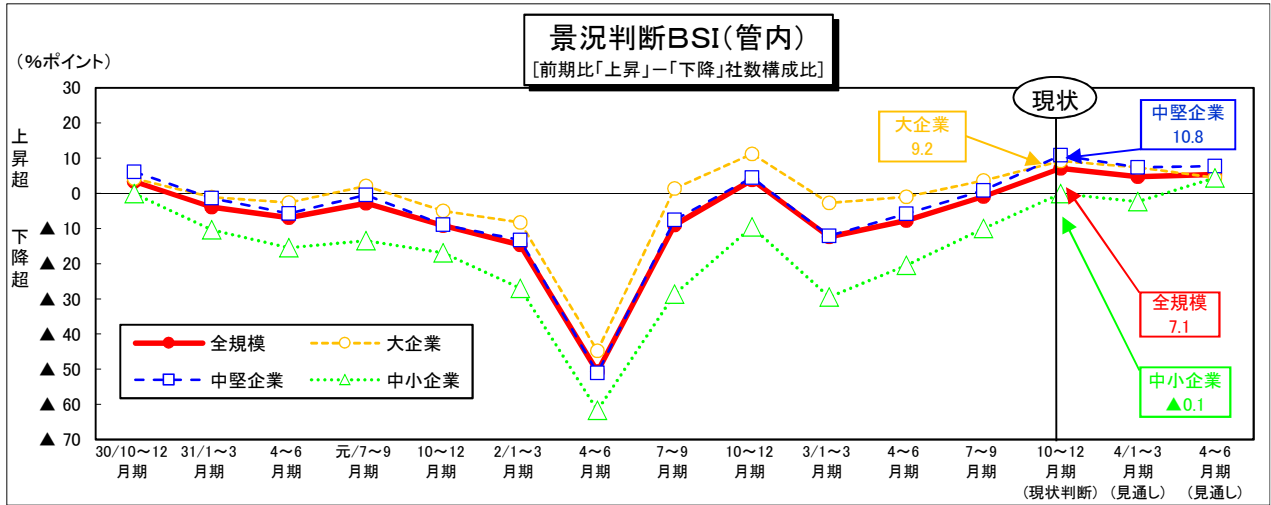


「法人企業景気予測調査(令和3年10~12月期調査)」(関東財務局)

6. 企業の景況感

「上昇」超となっている(全規模・全産業ベース)

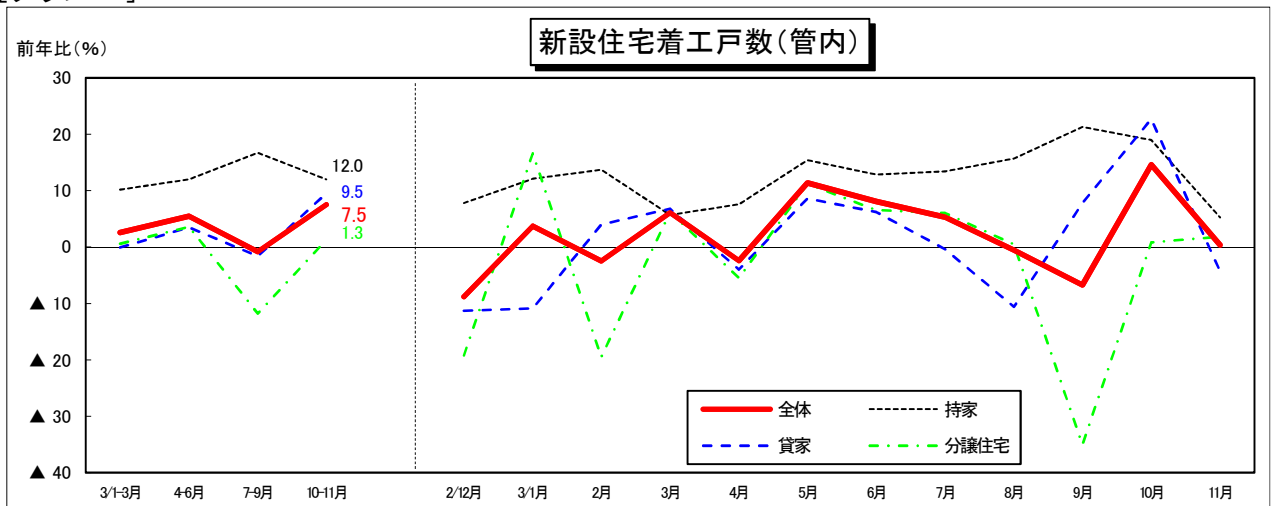
[グラフ15]



7. 住宅建設

前年を上回っている

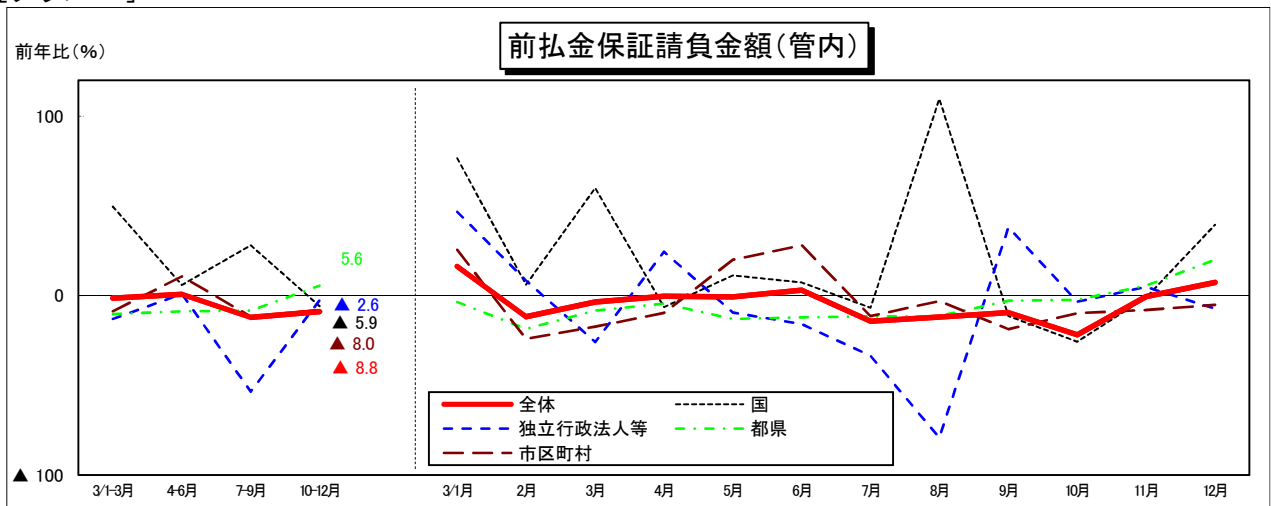
[グラフ16]



8. 公共事業

前年を下回っている

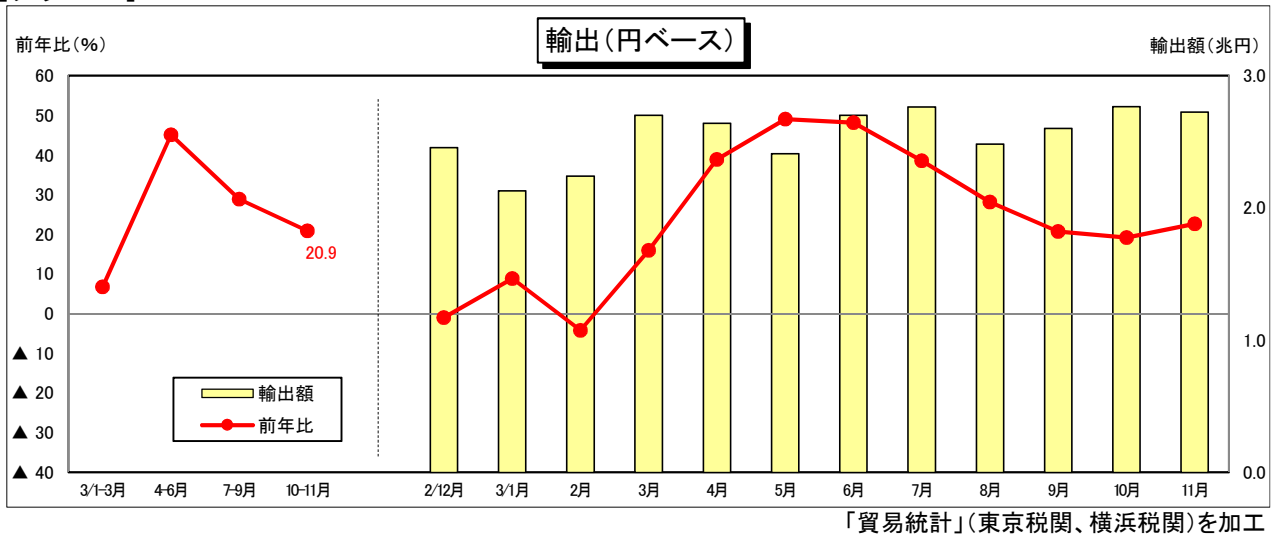
[グラフ17]



9. 輸出

前年を上回っている

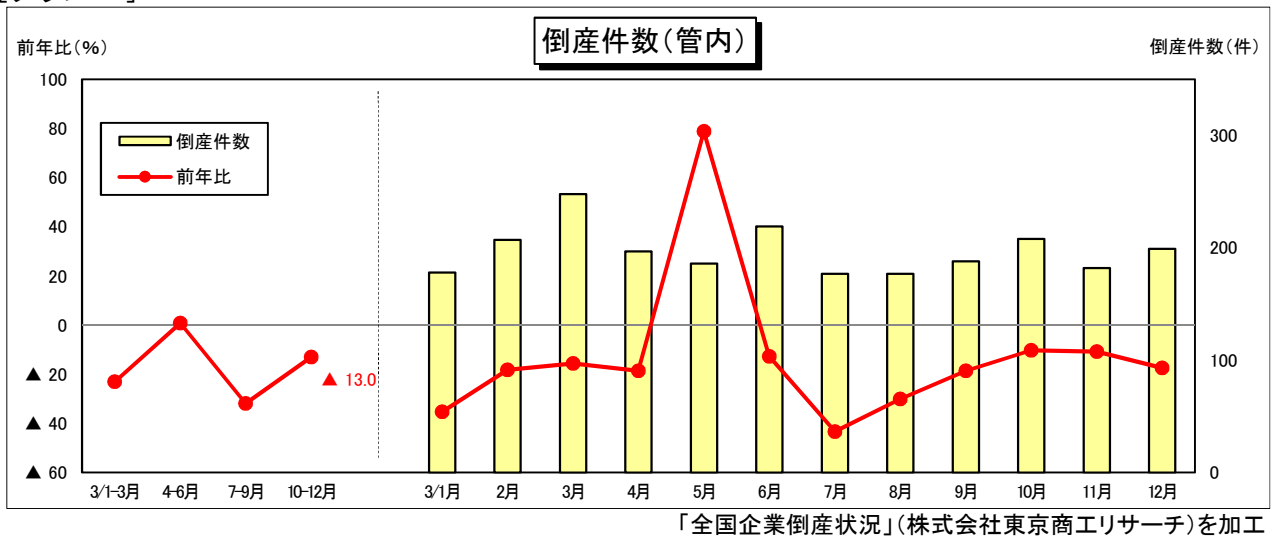
[グラフ18]



10. 企業倒産

件数、負債総額ともに前年を下回っている

[グラフ19]



[グラフ20]

